

議会改革特別委員会記録（第8回）

1. 日 時 令和4年3月10日（水）午後1時30分
2. 場 所 役場三階 議会議場
3. 案 件 (1)「議員定数・議員報酬に関する事」について
(2)「ICTの活用に関する事」について
(3)「その他議会改革に関する事」について
(4)その他
4. 出席議員 奈良岡文英委員長 外11名
5. 欠席議員 吉村忠男委員
6. 出席書記 藤田伸事務局長、佐藤健主幹
7. 会議概要

開 会 午後1時29分

奈良岡委員長：あいさつ後、開会を宣する。

事務局に報告事項及び配付資料の確認を求める。

事務局長：吉村委員の欠席報告、配付資料の確認。（配付漏れなし）

委員長提供資料：鷹栖町議会における「議員報酬と議員定数」のあり方最終報告

奈良岡委員長：案件（1）「議員定数・議員報酬に関する事」について、事務局へ説明を求める。

事務局長：資料により説明する。

奈良岡委員長：それでは、暫時休憩しフリートークとします。

《暫時休憩 午後1時40分～午後2時36分》①

各委員の意見：・町の人口が社会情勢の変化等により、一万五千人を切り、人口が減少してきている。

- ・近隣の同規模の町である板柳町や鶴田町の議員定数が12人となっている。
- ・前回の議員選挙が、定数ぎりぎりの立候補で無投票だった。
- ・これから定数割れや議員のなり手不足が懸念される。
- ・議員定数を平成22年に18人から14人に見直ししてから、12年経過している。
- ・この議会改革の推進を機会に定数と報酬を見直す時期が来ているのではないかと。
- ・町民から、定数を見直した方が良いとの意見をいただいた。
- ・議員定数はこのまま14人のままで良い。
- ・定数削減より女性が議員選挙に立候補しやすい環境づくりのほうが先だ。
- ・合併前の議員報酬は、旧藤崎町が22万円、旧常盤村が21万5千円で、合併の際、旧常盤村の議員報酬の額に合わせた。
- ・案件名が「議員定数・議員報酬に関する事」となっているが、分けて別々に検討するべきだ。

- ・合併時の議員定数と議員報酬の額については、旧町村の正副議長に一任された。
- ・定数割れを起こしたら、今後どうなるのか懸念している。
- ・議員定数を考える前に、町民に議会や議員の活動を知らせる必要がある。
- ・議員報酬を増やしたからといって、議員のなり手の魅力が増えるというものでもない。
- ・立候補者数が定員より少ないと、どういう人が立候補するかわからない。
- ・議員定数に関しては、なかなか手が付けづらい。
- ・議員のなり手不足の解消には、広報広聴活動を活発にして、情報発信をしていくことが必要だ。
- ・議会に関心のある町民は、ごく少数だ。
- ・若い人は、スマホがメインで広報紙をあまり見ない傾向にある。
- ・若い人の立候補はあまり見込めないので、議員は少数精鋭が良い。
- ・今、開かれた議会を目指して、議会改革を始めたばかりだ。
- ・どんなに高い理想や思想があっても、議員報酬が低すぎて生活ができなければ、議員のなり手は出てこない。
- ・生活の基盤として、最低限保障された議員報酬金額は必要だと思う。
- ・議員定数が多いか少ないかは、後から考える話だと思う。
- ・一般の方は議員報酬がいくらかわかっていない。
- ・生活の糧を持っていないと、議員報酬だけでは、なかなか議員に立候補できない現状だ。
- ・議員定数については、時間をかけて整理して考えた方が良い。
- ・自分の町内のことだが、議員の後継者として2、3人打診したが、議員の魅力が見出せないのか見つからなかった。議員定数を12人にするとハードルが益々上がると思う。
- ・定数が18人から14人になったときは、どういう状況だったのか。
- ・次の議員選挙がまた無投票だったら、定数を考えれば良いと思う。町民は議員に多様性を求めている。定数を考えるのは、今ではないと思う。
- ・今の議員報酬の金額で、今ある生活をかけて議員に立候補する人は、なかなかないと思う。

奈良岡委員長：休憩を取り消し、会議を再開。換気のため休憩します。

《暫時休憩 午後2時36分～午後2時44分》②

奈良岡委員長：休憩を取り消し、会議を再開。

案件（2）「ICTの活用に関すること」について、事務局へ説明を求める。

事務局長：資料により説明する。

奈良岡委員長：それでは、暫時休憩しフリーストークとします。

《暫時休憩 午後1時40分～午後2時36分》③

佐藤主幹：ペーパーレス会議システムの仕組み、操作を説明する。

奈良岡委員長：休憩を取り消し、会議を再開。

事務局長：近隣町村のペーパーレス化の状況について、説明する。

相馬委員：タブレットを毎日見る習慣を付けた方が良い。

阿部副委員長：ペーパーレス化も議会改革の一環である。やると決まったら出来ないでは済ま

されない。全員に覚えてもらう。一日一回はタブレットを確認するようにして。
奈良岡委員長：(3)「その他議会改革に関すること」の定例会開会前の全協開会時刻を午前9時からとするかについて、諮る。
相馬委員：委員が2人いないので、今決めなくても良い。
奈良岡委員長：意見や質疑がなければ、これで閉会します。
委員一同：質疑なし。
奈良岡委員長：以上で終了する。閉会を宣する。

閉 会 午後3時18分

委員長 _____

○令和4年3月10日（木） 第8回協議結果（全会一致）

（1）「議員定数・議員報酬に関すること」について

○委員から出た意見（フリートーク）

- ・町の人口が社会情勢の変化等により、一万五千人を切り、人口が減少してきている。
- ・近隣の同規模の町である板柳町や鶴田町の議員定数が12人となっている。
- ・前回の議員選挙が、定数ぎりぎりの立候補で無投票だった。
- ・これから定数割れや議員のなり手不足が懸念される。
- ・議員定数を平成22年に18人から14人に見直ししてから、12年経過している。
- ・この議会改革の推進を機会に定数と報酬を見直す時期が来ているのではないかな。
- ・町民から、定数を見直した方が良いとの意見をいただいた。
- ・議員定数はこのまま14人のままで良い。
- ・定数削減より女性が議員選挙に立候補しやすい環境づくりのほうが先だ。
- ・合併前の議員報酬は、旧藤崎町が22万円、旧常盤村が21万5千円で、合併の際、旧常盤村の議員報酬の額に合わせた。
- ・案件名が「議員定数・議員報酬に関すること」となっているが、分けて別々に検討するべきだ。
- ・合併時の議員定数と議員報酬の額については、旧町村の正副議長に一任された。
- ・定数割れを起こしたら、今後どうなるのか懸念している。
- ・議員定数を考える前に、町民に議会や議員の活動を知らせる必要がある。
- ・議員報酬を増やしたからといって、議員のなり手の魅力が増えるというものでもない。
- ・立候補者数が定員より少ないと、どういう人が立候補するかわからない。
- ・議員定数に関しては、なかなか手が付けづらい。
- ・議員のなり手不足の解消には、広報広聴活動を活発にして、情報発信をしていくことが必要だ。
- ・議会に関心のある町民は、ごく少数だ。
- ・若い人は、スマホがメインで広報紙をあまり見ない傾向にある。
- ・若い人の立候補はあまり見込めないなので、議員は少数精鋭が良い。
- ・今、開かれた議会を目指して、議会改革を始めたばかりだ。
- ・どんなに高い理想や思想があっても、議員報酬が低すぎて生活ができなければ、議員のなり手は出てこない。
- ・生活の基盤として、最低限保障された議員報酬金額は必要だと思う。
- ・議員定数が多いか少ないかは、後から考える話だと思う。
- ・一般の方は議員報酬がいくらかわかっていない。
- ・生活の糧を持っていないと、議員報酬だけでは、なかなか議員に立候補できない現状だ。
- ・議員定数については、時間をかけて整理して考えた方が良い。

- ・自分の町内のことだが、議員の後継者として2、3人打診したが、議員の魅力が見出せないのか見つからなかった。議員定数を12人にするとハードルが益々上がると思う。
- ・定数が18人から14人になったときは、どういう状況だったのか。
- ・次の議員選挙がまた無投票だったら、定数を考えれば良いと思う。町民は議員に多様性を求めている。定数を考えるのは、今ではないと思う。
- ・今の議員報酬の金額で、今ある生活をかけて議員に立候補する人は、なかなかいないと思う。

(2) 「ICTの活用に関すること」について

- ・タブレット端末でペーパーレス会議システムの仕組み、操作を説明。

(3) 「その他議会改革に関すること」について

- ・定例会開会前の全協開会時刻を午前9時からとするかについて諮ったが、次回へ持ち越しとなった。

(4) その他

- ・特になし

以上